

日 本 史

(問 題)

2012年度

〈2012 H24060111〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験がはじまってから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。記述解答用紙の所定欄（2か所）には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄には氏名のみを記入すること。受験番号の記入にあたっては、次の数字見本に従い、正確に正しいに記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. マーク解答用紙のマーク欄には、はっきりと記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムで正しいに、消し残しがないようよく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の【史料】(1)～(4)を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料】(1)

詔して曰はく、聞くななく、墾田は養老七年の格に依るに、限り満るの後、例に依りて収授すといふ。是に由りて、農夫怠倦し、開きたる地、後に荒れぬ。今より以後、任に私財として、a 一身を論ずること無く、咸悉く永年取ること莫れ。

【史料】(2)

其の一に曰はく、昔在の天皇等の立つる所の子代の民、処々の屯倉、及び、別に臣・連・伴造・国造・村首の有てゐる所の部曲の民、処々の田莊を罷めよ。

(中略)

其の三に曰はく、初めて戸籍・計帳・班田収授の法を造れ。

【史料】(3)

太政官奏すらく、頃者、百姓漸く多くして、田池窄狭なり。望み請ふらくは、天下に勸め課せて、田疇を開闢せしめむことを。其新に溝池を造りて、開墾を営む者有らば、多少を限らず、給ひてa に伝へむ。

【史料】(4)

國人集会す。……一國中の土民等群集す。今度兩陣の時宜を申し定めんがための故と云々。しかるべきか。但し又下極上のいたりなり。

(中略)

國人、平等院に会合す。國中の掟法、なお以てこれを定むべしと云々。およそ神妙。但し興成せしめば、天下のため、しかるべからざる事か。

A 下記の問い1～4の答えをそれぞれア～オから選び、マーク解答用紙に記せ。

1 【史料】(1)(2)(3)の発布年を古い順番にならべると、どのようなになるか。

- ア (1)→(2)→(3) イ (1)→(3)→(2) ウ (2)→(1)→(3)
エ (2)→(3)→(1) オ (3)→(1)→(2)

2 下線部cの下に置かれていなかったものはどれか。

- ア 式部省 イ 工部省 ウ 刑部省 エ 民部省 オ 治部省

3 【史料】(4)はどれに関するものか。

- ア 加賀の一向一揆 イ 正長の土一揆 ウ 伊予の武左衛門一揆
エ 嘉吉の徳政一揆 オ 山城の国一揆

4 下線部dと同時期の文化について間違っているものはどれか。

- ア 連歌が流行し、准勅撰の『菟玖波集』が編まれた。
イ この文化の成立に与った將軍の御台所は日野富子である。
ウ 阿弥号を名乗る同朋衆が能や築庭などに大きな役割を果たした。
エ 雪舟、狩野正信らが絵画の新境地を開いた。
オ 慈照寺東求堂は書院造の代表的建築物である。

B 下記の問い1～3の答えを記述解答用紙に漢字で記せ。

- 1 空欄aに入る語は何か。
- 2 670年に作成された下線部bを何というか。
- 3 下線部eの本尊である阿弥陀如来像を作った仏師は誰か。

II 次の【史料】を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料】『元禄世間咄風聞集』

本庄法恩寺近所に犬の子来り居申候。之に依って法恩寺より ② 御奉行所へ、「捨犬御ざ候」由御届け候由。

② 御奉行所にて仰せられ候は……「来り犬にて御座候は御せんさくにをよび申さず候。能々養育仕る可し」。
(中略)

③ 萩原彦次郎様御加増、其^{その}上御勘定頭に仰せ付けられ候。
(中略)

本庄の④ 両替屋に……歩^か行^ちく^ちらいの者参り候て……「御用金入用に候間、此^{この}古金^こを新金にかへ申す可き」由にて、金子拾五兩出し相渡し……罷^まり^か帰^かり候。
(中略)

津軽と南部の間に坂本と云う在^あり有^あり。
(中略)

辰之四月^し御法事^ご之刻、日光にてわらち二十束にて金^{きん}壹^{いち}分。
(中略)

⑨ 水戸中納言様御逝去^ご之^の前の晩、御近習^ご之^の者召し寄せられ、御座之間に於て御酒盛仰せ付けられ候。
(中略)

⑩ 去^さ比^{くら}、浅野内匠頭様浪人泉岳寺寺内に入り込み申し候。

A 下記の問い[i]～[viii]の答えをそれぞれ〈a〉～〈e〉から選び、マーク解答用紙に記せ。

[i] 空欄②に入るのはどれか。

〈a〉 町 〈b〉 道中 〈c〉 寺社 〈d〉 勘定 〈e〉 作事

[ii] 下線部③と関係のないものはどれか。

〈a〉 布衣 〈b〉 徳川家宣 〈c〉 酒運上
〈d〉 富士山大噴火 〈e〉 元文小判

[iii] 1670年に幕府より公認され、大坂の下線部④を統御する役割を果たした組織を何というか。

〈a〉 三組両替 〈b〉 本両替 〈c〉 十人両替 〈d〉 番組両替 〈e〉 済松寺領両替

[iv] 下線部⑤と同じ量目・品位を持つ小判が発行された時の将軍は誰か。

〈a〉 徳川吉宗 〈b〉 徳川家治 〈c〉 徳川家斉 〈d〉 徳川家茂 〈e〉 徳川慶喜

〔v〕 下線部⑥で医業を営み、後に大館で没した、「万人直耕」を理想とした人物の著作はどれか。

- 〈a〉 稽古談 〈b〉 夢の代 〈c〉 価値原
〈d〉 自然真営道 〈e〉 宇内混同秘策

〔vi〕 下線部⑦は法号を大猷院という将軍の50年忌法会である。この将軍の在位中の出来事でないものはどれか。

- 〈a〉 出島の築造 〈b〉 振袖火事 〈c〉 寛永の大飢饉
〈d〉 紅葉山文庫の造営 〈e〉 若衆歌舞伎の流行

〔vii〕 下線部⑧は、幕府の公定交換比率によれば、銭何文に相当するか。

- 〈a〉 500 〈b〉 1000 〈c〉 1500 〈d〉 2000 〈e〉 2500

〔viii〕 下線部⑩について間違っているものはどれか。

- 〈a〉 前年に起った、江戸城中での浅野長矩による吉良義央への傷害事件が発端であった。
〈b〉 幕府では、柳沢吉保を中心として事件処理が行われた。
〈c〉 佐藤直方など、大半の知識人は「浪人」を「義士」とみなした。
〈d〉 「浪人」46人は切腹となった。
〈e〉 後年、近松門左衛門の『碁盤太平記』をはじめ、文学・演劇・芸能などで、しばしば取り上げられるようになった。

B 下記の問い〔ix〕〔x〕〔xi〕の答えを記述解答用紙に漢字で記せ。

〔ix〕 下線部①の根拠となる法令を発した将軍は誰か。

〔x〕 下線部③と生年を同じくする燕子花図屏風の作者は誰か。

〔xi〕 下線部⑨が修史事業に着手してから約250年を費やして編纂された紀伝体の歴史書を何というか。

Ⅲ 次の【史料】を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料】

人民あまねく国政を議するに至るは、国の独立を實にし、民の昌栄を進むるの兆なるは言を待たざるなり。過ぐる一八日の（ 1 ）に、（ 2 ）へ宛たる副島氏はじめ八名の建言書を載せたり。これを看るに「民撰議院」を立つるの議あり。その論ことごとく国政に關せざるはなし。すなわち、この国の独立、民の昌栄を目的とするものなり。しかれどもその志意いまだ分明ならず、またその文義穩ならざるを覺う。

「昨今民心洶々上下相疑い、ややもすれば土崩瓦解の兆、これ無しとも申しがたき勢に立至候儀、畢竟天下の輿論公議の壅塞するゆえと」。……まず仮りにこれを実と認めば、すなわちこの形勢を醸し成したるの責は誰に帰すべきや。ひとえにこれを目今の在官者に帰して可ならんか。そもそも建言諸名の君子、在官のときと今日とに比すれば。その差異はたして如何ぞや。ひそかに聞く、^(b)往日朝鮮を撃つ議を主張せし人は、多くはこの諸君子なりと。この議もし行われなば、今この公議輿論壅塞の弊は無るべしというとも、一概にこれを信じ得べからざるなり。

昨年十月の布告に（ 4 ）中「国体を誹り、国律を議し及び外法を主張宣議して国の妨害を生ぜしむるを禁ず」「政事、法律等を記載することにつき、妄りに批評を加ることを禁ず」……などの箇条あり。そもそもそれらの布告は諸氏が官のとき成れり。……「別紙建言奉り候次第、平生の持論にして、某らに官中しばしば建言に及び候ものもこれあり候」とあるを見れば、かの（ 4 ）は定て不満ながらも同意して発せられしものなるべし。しかれば、かの民心洶々上下相疑い、土崩瓦解の形勢、輿論公議壅塞なども、右（ 4 ）と同く、心ならずも諸氏また助けてこ

れを醸し出したるものと看ても無理にあらず。

いわゆる「民撰議院」なるものは、その制はたして如何ぞや。政府、人民に令してこれを立るにあるか、將た今、これを政府に⁽⁵⁾申告し、もって人民随意に會議を興すにあるか、あるいは政府の許可を得てこれを立るにあるか。建言書に「この段よろしく御評議を遂げられるべく候なり」とあるをもつて察すれば、政府は人民のために議院を立つべしと云うの義ならん。もしはたしてかくのごとくならば、これすなわち人民の議院に⁽⁶⁾あらずして、全く政府の議院なり。……もしかくのごとくなれば、議員忌憚なく政事を議する能わざるのみならず、また政府に対して柔順ならざるを得ざるは自然の勢にして、理の当然、さらに弁ぜずして明なり。すでに柔順なれば、議するところもまた、したがいて政府の所為を称賛し、ついに政府の太鼓持と云われるごとく、世上の批評を受けるに至るべし。

『明六雜誌』第三号
(c)

A 下記の問い1～8の答えを、ア～オから選び、マーク解答用紙に記せ。

1. (1) に入る新聞は何か。

ア 国民新聞 イ 自由新聞 ウ 郵便報知新聞 エ 日新真事誌 オ 時事新報

2. (1) の新聞の発行者は誰か。

ア J.R.ブラック イ 前島密 ウ 馬場辰猪 エ 福沢諭吉 オ 徳富蘇峰

3. (2) に入る機関は何か。

ア 集議院 イ 元老院 ウ 正院 エ 右院 オ 左院

4. 下線部(3)の副島以下八名に含まれていないものは誰か。

ア 板垣退助 イ 後藤象二郎 ウ 小室信夫 エ 西郷隆盛 オ 由利公正

5. 下線部(3)の副島以下八名の中に江藤新平がいた。彼が関わった乱は何か。

ア 秋月の乱 イ 西南戦争 ウ 萩の乱 エ 神風連の乱 オ 佐賀の乱

6. (4) に入るものは何か。

ア 集会条例 イ 新聞紙条例 ウ 新聞紙条目 エ 出版条例 オ 讒謗律

7. 下線部(5)をめぐって、各地に政社が誕生して、自由民権運動が広がった。政社と設立地の組み合わせで、誤っているものはどれか。

ア 愛国社＝大阪 イ 潮来社＝茨城 ウ 自助社＝徳島
エ 石陽社＝長野 オ 立志社＝高知

8. 下線部(6)の論旨とは別に、この史料と同様に、『明六雑誌』で民撰議院の設立に時期尚早を唱え、『国体新論』などを著した人物は誰か。

ア 加藤弘之 イ 津田真道 ウ 中村正直 エ 西村茂樹 オ 西周

B 下記の問い1～3の答えを、記述解答用紙に漢字で記せ。

1 下線部(a)を建言する際に、副島たちは「政権帰する所を察するに、上帝室に在らず、下人民に在らず、而して□□に帰す」と述べ、それを契機に、民撰議院をめぐる論争が広く生じた。彼らや民撰議院を求める人々は、藩閥的な政府高官による政治を、この建言に示された「□□」を用いて、何と批判したか。

2 下線部 (b) をめぐって政変が生じた二年後に、日朝修好条規の締結のきっかけとなった事件が起きた。その事件は何か。

3 下線部 (c) を発行した社の設立に関わった発起人で、この史料を著し、後に、文部大臣となって諸学校令の制定にも関わった人物は誰か。

Ⅳ 次の史料 (1)、(2) を読み、下記の問い A、B に答えよ。

史料 (1) ただ吉野氏始め、当時の理論的デモクラットは多くは学界に閉じ籠っていた人々であったから……、プロレタリア運動との関連は、その認識と論理とに止まっていた。吉野氏は、友愛会の創立者であった a 氏の恩師で、友愛会の顧問の一人となっていたが、^①友愛会そのものが、社会主義運動とは或る懸隔を保っていたので、吉野氏の社会主義運動の諒解も、実際の氏としては例外的に、理論の範囲を出なかった。而してその理論においても、厳重にデモクラットの限界を守っていた吉野氏であったから、当時の氏のデモクラシーの使徒ら——特に新人会——が社会主義的イデオログとして成長して行ったにもかかわらず、氏自身は決してその限界を踏み越えなかった。……新人会の創立一周年の記念日に来合わせた吉野氏が堺利彦氏と顔を合せたが、両君は互に未知の間柄だったので、当時『大阪朝日』を罷めて東京に来てまだ間もなかった私が、両君を引合せたことがあった。この一事は偶然にも吉野氏がデモクラットの限界をいかに厳重に守っていたかを証明する事実とも取られるのである。……氏の関心はどこまでも当面の現実政治であった。されば氏の理論は、いつも着実に、実行論を伴っていた。……吉野氏が、板垣と共に、日本のブルジョア政治機構における軍部を最も力強く問題としたのもそうした理由からであった。^④軍部大臣の問題、軍事行政の問題、軍縮問題、等は吉野氏においては、抽象的の政治問題として理論づけられずにその時々にかかる問題に即して語られた故に、端的に現実政治家らの頭に響いた。それだけ反動的現実政治家や軍部の忌諱に触れることを免れなかった。

史料 (2) 事変当初は不拡大方針をもつて出来るだけ現地的解決を計らうとしたのであるが、^⑥どういふわけか実際に於ては、拡大するばかりであった。これでは心配でたまらないから、南京攻略の機会をつかみ、5 のトラウトマン駐支大使を通じて南京との交渉に当つて貰つた……が支那側が思ふやうに交渉に乗つて来ないので不成功に終つた。そこで、やむを得ず翌年の一月十六日に「爾後国民政府を相手とせず」といふ声明書を發表して様子を見た。しかし事態は少しも好転しないので「相手にせず」といふ声明を緩和して「国民政府が改替更生して新秩序建設に参ずれば拒まず」といひかへた。この時はじめて「東亜新秩序」といふ言葉を使った。……次いでこの声明に具体的内容を与へた「対支国交調整方針」を、十二月二十二日声明した。……この声明に呼応して汪兆銘が重慶を脱出して来た。……ところが汪について出て来る筈の^⑧何応欽も誰も一向出て来ず、この見透しも当らなかった。世間では「相手にせず」の声明で重慶との交渉を打切つたやうに見てゐるが、こちらはそれ以後日支全面和平の為、色々手をつくしてゐたのである。……第二次内閣組閣直後私の名で蒋介石に手紙をやるといふ事までやつた。……この声明は、私も非常に重要なものと考えてゐる。^⑦当時は軍部も一致して、これを支持したのであつた……。昨年東条内閣の大東亜宣言、^⑧対華新政策などは結局、この……声明と同じ意義のものであり、従つて治外法権の撤廃といひ、租界の返還といひ、何れも右声明の根本方針を踏襲したまでのことである。

A 下記の問い 1～8 の答えをそれぞれイ～ホから選び、マーク解答用紙に記せ。

1 下線部①にもかかわらず、この後継団体が次第に階級闘争主義の色彩を強めてゆくなかで、左派が分裂して1925年に結成した組織は何か。

イ 労働組合期成会

ロ 日本労働総同盟

ハ 日本労働総同盟友愛会

ニ 日本労働組合評議会

ホ 日本労働組合総評議会

2 下線部②に該当しないものはどれか。

- イ 主権在民 □ 普通選挙制 ハ 民衆本位の主権運用
ニ 政党内閣制 ホ 枢密院・貴族院改革

3 下線部③が山川均、荒畑寒村らと結成した政党は何か。

- イ 日本大衆党 □ 日本社会党 ハ 日本共産党 ニ 日本無産党 ホ 日本労農党

4 下線部④を現役の大将・中將に限定した制度を廃止した内閣の首班は誰か。

- イ 山県有朋 □ 山本権兵衛 ハ 西園寺公望 ニ 広田弘毅 ホ 米内光政

5 空欄⑤に入る国はどれか。

- イ ツ連 □ イタリア ハ ウランス ニ アメリカ ホ ドイツ

6 下線部⑥の理論的支柱を提供した政策研究会を、1933年に組織したのは誰か。

- イ 後藤隆之助 □ 尾崎秀実 ハ 蠟山政道 ニ 三木清 ホ 笠信太郎

7 下線部⑦に関わる事柄で正しくないものはどれか。

- イ 1919年、パリ講和会議に随員として参加した。
□ 1933年、貴族院議長に就任した。
ハ 第十次内閣において、電力国家管理法を公布した。
ニ 第三次内閣において、北部仏印進駐を実行した。
ホ 太平洋戦争終結直後の東久邇宮内閣に国務相として入閣した。

8 下線部⑧を採択した会議に参加しなかった国はどこか。

- イ 満州国 □ ビルマ ハ インドネシア ニ タイ ホ フィリピン

B 下記の問いa～dの答えを記述解答用紙に漢字で記せ。

- a 空欄⑨に入るのは誰か。
b 下線部⑩と同年にデモクラシーの普及・拡大のため知識人を中心に結成された啓蒙団体は何か。
c 下線部⑪の発端になった事件は何か。
d 河北省の非武装化のため下線部⑫と協定を結び、のちに最後の参謀総長として戦艦ミズーリ号上で降伏文書に署名したのは誰か。

V 次の【史料】(1)～(4)は、歴代首相の所信表明演説の抜粋である。下記の問いA、Bに答えよ。

【史料】(1) この秋には、東京でIMF総会、⁽¹⁾オリンピックなど、世界的行事が開催され、大きな成果をおさめました。これは、国民の英知と努力の成果を象徴したものであり、国民の一人として、わが国の復興と発展に深い感慨を覚えるものであります。

【史料】(2) 私は、本年三月、アメリカを訪問し、カーター大統領との間で、わが国外交の基軸である日米友好協力関係の維持増進を確認しました。今後とも世界の中の日米関係、世界の中の日米協力という立場から、国際社会の期待に積極的にこたえるよう、ともに協力してまいりたい決意でございます。

【史料】(3) ⁽²⁾七〇年代の政治には、強力なリーダーシップが求められております。新しい時代には新しい政治が必要であります。政治家は、国民にテーマを示して具体的な目標を明らかにし、期限を示して政策の実現に全力を傾けるべきであります。

私が日中国交正常化に取り組み、また、日本列島改造を提唱したのも、時の流れ、時代の要請を痛切に感じたからにはかなりません。

【史料】(4) 本年十一月、米国大統領選挙の結果、民主党のケネディ候補が次期大統領に就任することになりました。私は、⁽³⁾アイゼンハワー大統領の前後八年にわたる治政下において米国がわが国に示された好意と協力に心から感謝するとともに、明年初頭発足いたします民主党政府のもとにおいても、日米両国の友好協力関係がますます緊密化することを期待し、かつ、確信するものであります。

A 下記の問い1～4の答えをア～オから選び、マーク解答用紙に記せ。

1 【史料】(1) から【史料】(4) までの所信表明演説はどの首相のものか。

【史料】(1) 【史料】(2) 【史料】(3) 【史料】(4)

- ア 佐藤栄作 — 池田勇人 — 田中角栄 — 福田赳夫
イ 池田勇人 — 福田赳夫 — 佐藤栄作 — 田中角栄
ウ 佐藤栄作 — 福田赳夫 — 田中角栄 — 池田勇人
エ 池田勇人 — 田中角栄 — 福田赳夫 — 佐藤栄作
オ 池田勇人 — 福田赳夫 — 田中角栄 — 佐藤栄作

2 下線部(1)の年に開通したものはどれか。

- ア 東名高速道路 イ 東北新幹線 ウ 名神高速道路
エ 東海道新幹線 オ 長野新幹線

3 下線部(2)の時期に先進国首脳会議(サミット)が開始された。最初の会議に参加していない国はどれか。

- ア 西ドイツ イ イタリア ウ 日本 エ カナダ オ フランス

4 下線部(3)の在職中に首相でなかったのは誰か。

- ア 吉田茂 イ 鳩山一郎 ウ 芦田均 エ 石橋湛山 オ 岸信介

B 1960年代から1970年代に生じた日本政治における「多党化現象」について、下記の語群から適切なものを用いて、120字以内にまとめ記述解答用紙に記せ。

(語群)

国民協同党 公明党 新自由クラブ 日本新党 新党さきがけ 新生党
西尾末広 田英夫 武村正義 細川護熙 美濃部亮吉 羽田孜

〔以下余白〕